



## すずか倶楽部 鈴木 純 議員

- 1 市民満足度調査について
- 2 市民からの要望に対する対応
- 3 津波避難ビルの推進について

**質問1** 平成17年以降実施されていない総合的な市民満足度調査とその活用の必要性をどう考えるか。

**答弁1** 市民満足度調査の必要性は十分認識している。新たな手法なども研究しながら改善を検討したい。

**質問2(1)** 市民から地区市民センター経由で提出される要望書への対応は部課によりばらつきがあるとのことだが改善についてはどうするか。

**答弁2(1)** ①地域との連絡をより円滑でスピーディに行い、市民の利便性を向上させてまいりたい。②要望内容により文書での回答を行い、地区市民センターへ

も回答文書を送付し記録に残るよう検討する。

**質問2(2)** 地区市民センターは要望書の対応状況を常に把握し部課と協力、誠実迅速な対応を行うべき。

**答弁2(2)** 担当部署と調整し対応状況について適切に把握するよう努めていく。

**質問3(1)** 津波避難ビルの推進についてどのように進めていくか。市長の率先した取り組みは。

**答弁3(1)** 津波避難ビルの必要性は十分認識している。施設の所有者の協力を得る為、精一杯努力をする。

**質問3(2)** 津波避難ビル指定にあたり、屋上部のフェンス設置など整備工事への補助金対応は。

**答弁3(2)** 県と市が2分の1ずつ負担する補助金制度の運用を早急に考えていきたい。



## 公明党 藤浪 清司 議員

- 1 災害対策について
- 2 公共施設・学校の安全対策について
- 3 省エネ・エコ対策について

**質問1** 災害時の危機管理に役立つ「被災者支援システム」が、総務省より無償配布されており是非活用すべきである。また、災害弱者を把握し救助や安否確認などを行なう「要援護者支援システム」の取り組み状況は。

**答弁1** 災害時減災や復旧復興などを早める為に事前の準備が重要。このようなシステムなどを含めて検討・研究している。要援護者に関する情報一元化を図る為データベース構築を行なっている。

**質問2** 災害時の怪我防止と避難経路の確保の為、

窓ガラスの飛散防止フィルムを校舎に貼るべき。

体育館の吊天井と照明器具の落下防止対策は。

**答弁2** 飛散防止については、今後建替えや大規模改修を行なう際に順次対応する。体育館の吊天井はなるべく早期に対応したい。大型公共施設は、国の基準見直しを受けて対応したい。

**質問3** 省エネ対策として、サマータイム制導入・公共施設のLED照明と太陽光の利用状況は。

**答弁3** サマータイム制は考えていないが、ノー残業デーの追加とクールビズの早期実施をする。太陽光発電は、本庁舎などで設置しており、建設中の消防署にも設置予定。LED照明は価格や照度の改善を見極めて対応する。



## 無所属 森田 英治 議員

- 1 地震・津波対策について
- 2 航空隊格納庫の保存・利用について
- 3 農業施策について

**質問1** 市民の最も関心のある、地域の避難所の標高の表示と等高線をいれたハザードマップを市報などで6月末までに公開してほしい。また、避難が長期に及ぶ場合の運用方法を再検討するべきである。

**答弁1** 期限を決めることはできないが、早急に対応していく。また避難生活が長期化した場合には、備蓄分だけでは困難であるので、イオン(株)とコメリ災害対策センターと協定を締結している。今後も、民間企業・団体の協力を得るよう努めていく。

**質問2** 日本にほとんど残っていない貴重な建築物で

あり、利用の仕方により観光などの貴重な財産になる可能性もあります。保存のための資金援助は無理でも知恵や情報を提供し、保存団体と一緒に積極的な利用方法を考えることも大切と考えるが。

**答弁2** 再建築することを目的とした関係者が集う協議体へは、市の方針と異なるため参加は厳しいが、保存団体とは対話していく。

**質問3** 農業施策について、農産物のブランド化に努力されている団体や農家に対して行政としてPRや研究などの財政的な支援体制はしていくのか。

**答弁3** ブランド化を進める農業者の相談窓口となり、農商工連携や、六次産業化などの取り組みや県の施策を活用推進して支援していく。